阿南市立中野島小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 言語活動の充実を図る授業の実践
- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実践

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取り組み状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○真面目に取り組むことの大切さを理解している。 ○基礎基本は、ある程度定着している。 ●理解や作業に時間がかかり、課題が時間内に仕上がらないことがある。 ●個人差が大きく、一時的な理解から長期的な記憶につながらないことがある。	・基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けることができる子。 ・身につけた知識・技能を生かして課題を解決できる子。 ・与えられた課題を仕上げるまで根気強く取り組むことができる子。	・視写トレーニング等を行い作業スピードをあげる。 ・具体的操作やペア学習、ドリル学習やフラッシュカードの活用などを繰り返し行う。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○声の大きさや内容等、相手を意識して自分の言葉を使って話そうとしている。 ○方法や手順の分かる学習には真面目に取り組んでいる。 ○本を読む機会が多いので、読書が好きなお子が多い。 ●根拠や理由を明らかにしながら筋道を立て話したり書いたりすることが苦手である。 ●相手の話の内容を正しく捉えながら意見を交流し、考えを深める力が弱い。 ●失敗をおそれ、自分の考えを言い出しにくい。	・友達との交流の中で、相手の話の内容を正しく捉えたり、自分の考えを深め発信したりできる子。 ・発達段階に合った言葉を工夫して用い、話したり、文章にしたりできる子。	・表現する機会を増やしたり、多様な表現方法(図・絵を用いる等)を提示したりして、自分に合った表現方法を選択させる。 ・計画的に課題を出し、文章力をつける指導を充実させる。 ・ペア、班など、小さいグループで意見交流することから始め、表現する機会を増やし、自信や安心感をもたせる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○意欲や好奇心にあふれ、新しいことに進んで挑戦している。 ○家庭学習や朝の読書が習慣化されており、与えられた課題について真面目に取り組んでいる。 ●主体的に課題を見つけ、発展的な課題に取り組もうとする意欲が乏しい。 ●集中力・姿勢の保持が持続しない児童が一部見られる。 ●ゲーム機やスマホを長時間利用している。	・学ぶ楽しさを実感し、学習に主体的に取り組むことができる子。 ・自分の学習の状況を知り、自らの課題を解決できるよう行動できる子。 ・失敗を恐れず、向上心をもって行動できる子。	・学習意欲を持続させるため『自主学習おすすめメニュー』を作成し、定期的に自主学習ノートを評価する。 ・児童のがんばりや望ましい行動に対して賞賛し、できた成果を視覚化できるように工夫する。 ・自分で学習の準備等を確認する方法を教え、正しい学習態度・生活習慣を身につけさせる。			